

ミニディスクロージャー誌

平成21年3月期・営業の中間ご報告

MINI DISCLOSURE

HOKURIKU HOKKAIDO Tokyo・Nagoya・Osaka



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ

Hokuhoku Financial Group, Inc.



地域とあなたのために、 もっと。



広域ネットワークを活かし、
地域のお客さまの利便性をさらに向上させる体制づくりや
お客さまの声をしっかり捉えた質の高い金融サービスで、
地域とお客さまのための「もっと」を実現させてまいります。

 株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group, Inc.

 北陸銀行

 北海道銀行

ごあいさつ

皆さまには、日ごろより当社をお引き立て賜り、誠にありがとうございます。

ここに、ほくほくフィナンシャルグループの「ミニディスクロージャー誌(平成21年3月期・営業の中間ご報告)」をお届けいたします。

本誌では、当社の平成20年度中間期の業績や取り組みなどについてご紹介しております。ぜひご一読いただき、当社に対するご理解の一助としていただければ幸いです。

当社グループでは、平成19年8月と20年6月に公的資金を一部返済いたしました。この間お客さまや株主の皆さまのご理解とご支援をいただけたことに厚く御礼申し上げます。

今後ともさらなる経営努力を続け、経営理念であります「地域共栄」の精神で地域のお客さまとともに発展し、公的資金の早期返済をめざしてまいります。

皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年12月



取締役社長
高木 繁雄
(北陸銀行 頭取)

取締役副社長
堰八 義博
(北海道銀行 頭取)

CONTENTS

ごあいさつ	02	地域とともに(北海道銀行)	13	株式の状況／経営理念	
業績ハイライト	03	財務諸表(ほくほくフィナンシャルグループ単体)	17	株式の状況	21
グループの概要	07	財務諸表(ほくほくフィナンシャルグループ連結)	18	経営理念・ホームページのご案内	22
地域とのかかわり	08	財務諸表(北陸銀行単体)	19		
地域とともに(北陸銀行)	09	財務諸表(北海道銀行単体)	20		

■ 営業の概況<ほくほくフィナンシャルグループ連結>

(単位:億円)

	20年9月期		19年9月期
		前中間期比	
経常収益	1,238	△19	1,257
経常利益	196	△130	327
中間純利益	375	210	164
自己資本比率	10.39%	0.42%	9.97%

■ 営業の概況<北陸銀行・北海道銀行>

(単位:億円)

	2行合算+分割子会社		
	20年9月期		19年9月期
		前中間期比	
経常収益	1,132	△4	1,136
コア業務粗利益	875	△28	904
経費(臨時処理分を除く)	456	6	449
コア業務純益	419	△35	454
与信費用	156	27	128
経常利益	200	△119	320
中間純利益	385	222	162
不良債権比率	3.48%	△0.59%	4.07%

(単位:億円)

	北陸銀行+分割子会社		
	20年9月期		19年9月期
		前中間期比	
経常収益	655	△15	670
コア業務粗利益	500	△33	533
経費(臨時処理分を除く)	257	1	256
コア業務純益	242	△34	277
与信費用	100	11	88
経常利益	102	△86	189
中間純利益	307	214	92
不良債権比率	3.60%	△0.66%	4.26%

(単位:億円)

	北海道銀行		
	20年9月期		19年9月期
		前中間期比	
経常収益	477	10	466
コア業務粗利益	375	4	370
経費(臨時処理分を除く)	198	5	192
コア業務純益	176	△1	177
与信費用	56	16	39
経常利益	98	△32	130
中間純利益	77	8	69
不良債権比率	3.29%	△0.48%	3.77%

当社における当中間期の業績につきましては、連結経常収益は前中間期比19億円減少し1,238億円、連結経常利益は前中間期比130億円減少し196億円、連結中間純利益は前中間期比210億円増加し375億円となりました。

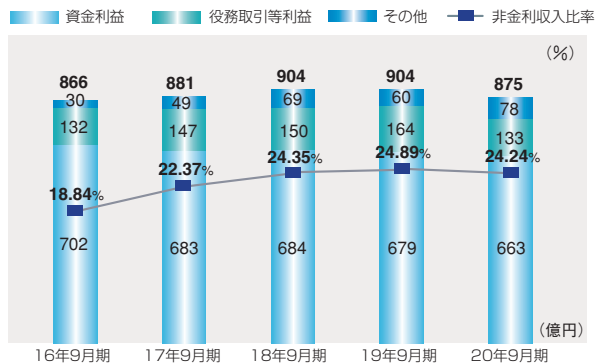
連結自己資本比率は前中間期末比0.42%上昇し10.39%となりました。

銀行の本来業務の収益力を表すコア業務純益は、資金利益や役員取引等利益が減少したこと、また、システム投資等による経費の増加もあり、前中間期比35億円減少の419億円となりました。

経常利益は、与信費用の増加と株式等損益の悪化により、前中間期比119億円減少の200億円となりました。中間純利益は、法人税等調整額が減少したことから、前中間期比222億円増加の385億円となりました。

業績ハイライト

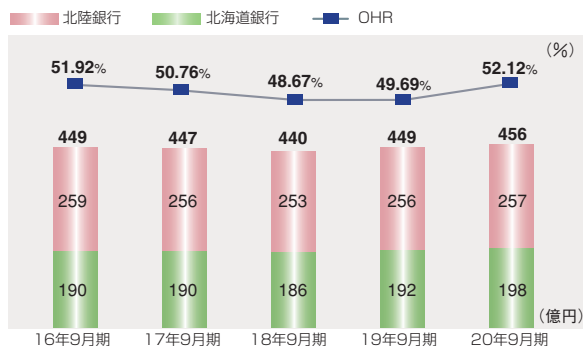
■ コア業務粗利益<2行合算+分割子会社>



コア業務粗利益は、資金利益や役員取引等利益が減少したことから、前中間期比28億円減少の875億円となりました。

- コア業務粗利益＝資金利益＋役員取引等利益＋その他
一般の企業で言う「売上総利益」に相当する概念で、銀行の本業におけるおおもとの利益、銀行が創造する価値の源泉です。
- 資金利益・・・貸出金、預金、有価証券等の利息収支等。
- 役員取引等・・・投資信託、保険の取扱手数料等。
- その他・・・外国為替売買益やデリバティブ収益等。
- 非金利収入比率・・・コア業務粗利益のうち、資金利益以外が占める割合。

■ 経費<2行合算+分割子会社>

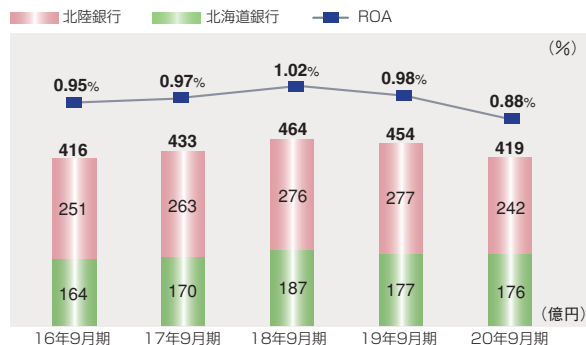


経費は、システム投資等により、前中間期比6億円増加の456億円となりました。

OHRは地銀トップクラスの水準を維持しております。

- 経費＝人件費＋物件費＋税金
一般の企業で言う「販売費及び一般管理費」に相当します。
- OHR＝経費÷コア業務粗利益
少ない経費でいかに多くの利益をあげているかを示す指標で、数値が低いほど効率的です。

■ コア業務純益<2行合算+分割子会社>

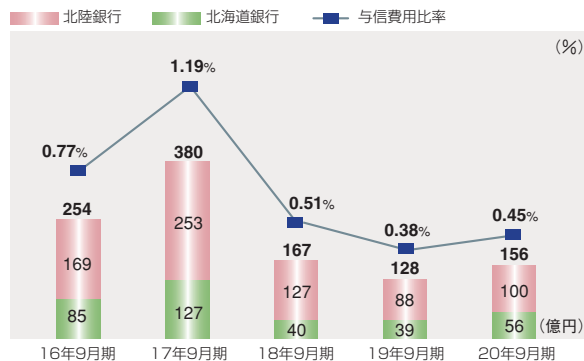


コア業務純益は、粗利益の減少、経費の増加により、前中間期比35億円減少の419億円となりました。

ROAは地銀トップクラスの水準を維持しております。

- コア業務純益＝コア業務粗利益－経費
一般の企業で言う「営業利益」に相当し、銀行の本業の成果を示したもので、銀行特有の指標です。
- ROA＝コア業務純益÷総資産(期中平均)
資産をいかに有効に活用して利益を上げているかを示す指標で、数値が高いほど効率的です。

■ 与信費用<2行合算+分割子会社>



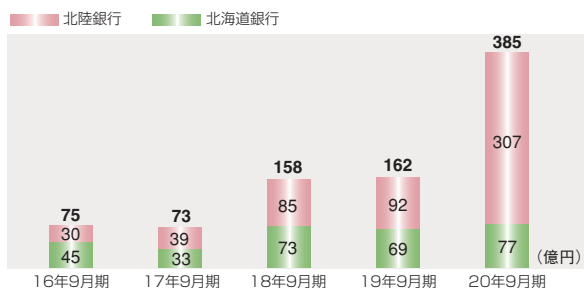
与信費用は、大型倒産の発生や地域経済の低迷により、相応の引当処理を要したことから、前中間期比27億円増加の156億円となりました。

■与信費用=不良債権処理額+一般貸倒引当金繰入額

■与信費用比率=与信費用÷貸出金平残

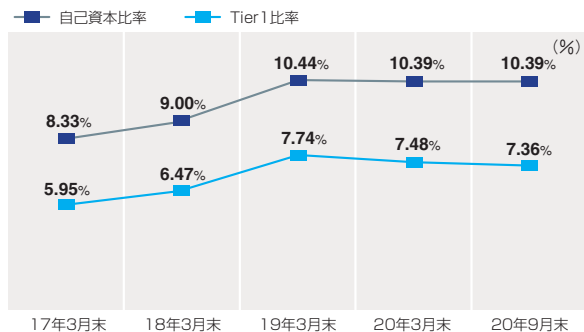
与信費用と貸出残高とを対比した指標で、数値の低下は、不良債権処理の進展に伴い資産の健全化が進んでいることを示しています。

■ 中間純利益<2行合算+分割子会社>



中間純利益は、法人税等調整額が減少したことから、前中間期比222億円増加の385億円となりました。

■ 自己資本比率<FG連結>



自己資本比率は、利益を着実に積み上げる一方、公的資金の一部返済(250億円)を実施した結果、前期末と同じ、10.39%となりました。

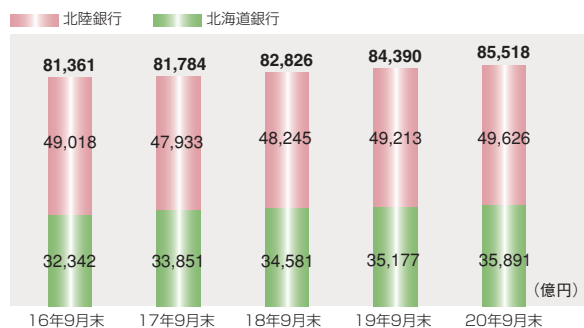
■自己資本比率…自己資本(資本金や利益の蓄積等)が資産に比べてどの程度充実しているかを示します。この比率が高いほど安全性・健全性が高いといえます。

■Tier1比率…リスク・アセット(貸出金等の資産)に対するTier1(自己資本の基本的項目である資本金・資本剰余金・利益剰余金等)の割合を示したもので銀行の本質的な健全性を示すものです。

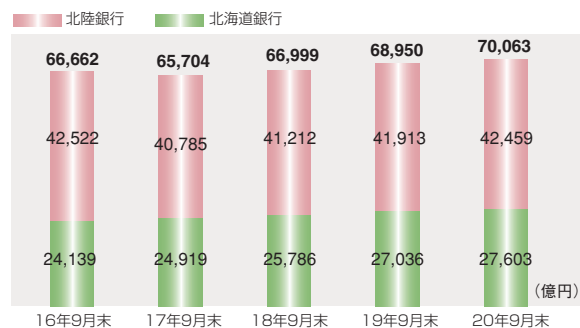
※平成19年3月から自己資本比率算出について新しい基準(バーゼルⅡ)を適用しております。平成18年3月以前は旧基準により算出しております。

業績ハイライト

■ 預金<2行合算>

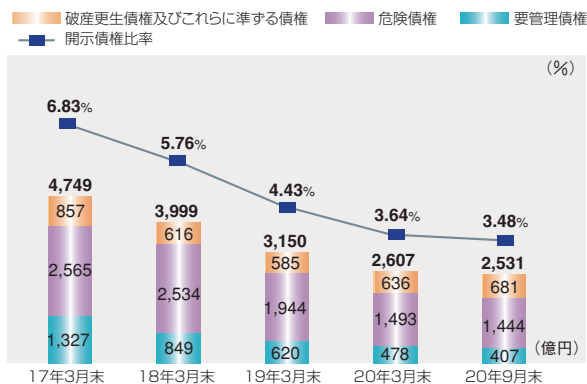


■ 貸出金<2行合算+分割子会社>



※北陸銀行では、従来、RMBS（住宅ローン信託受益権等）を「貸出金」に含めておりましたが、17年度から「買入金銭債権」に含めており、過年度との比較のため、RMBSを控除した計数を記載しております。

■ 金融再生法開示債権<2行合算+分割子会社>



金融再生法開示債権は、前期末比75億円減少し、2,531億円となりました。開示債権比率は、前期末比0.16%低下し、3.48%となりました。

■金融再生法開示債権・・・金融再生法（金融機能の再生のための緊急措置に関する法律）に基づく基準により、貸出金等の分類を公表しています。

■開示対象債権・・・貸出金及び支払承諾見返、外国為替、未収利息、仮払金、貸付有価証券、自行保証付私募債。但し、要管理債権は貸出金、自行保証付私募債のみ。

■破産更生債権及びこれらに準ずる債権・・・破産、会社更生等の事由により経営破綻に陥っているお取引先に対する債権及びこれらに準ずる債権のことです。

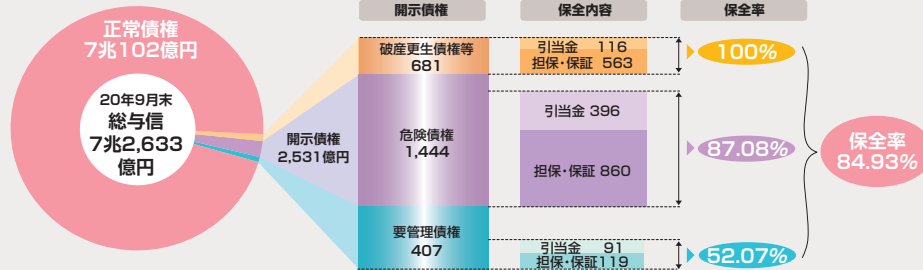
■危険債権・・・お取引先が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本及び利息の受取ができない可能性の高い債権のことです。

■要管理債権・・・3か月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権（「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」及び「危険債権」を除く）のことです。

■開示債権比率・・・総与信に占める金融再生法開示債権の割合を示しています。この比率が低いほど健全性が高いといえます。

不良債権への備え

金融再生法開示債権2,531億円のうち、1,544億円は担保・保証、605億円は貸倒引当金によりカバーされており、保全率は84.93%と十分な引当・保全状況を維持しております。



グループの概要 (平成20年9月末現在) ほくほくフィナンシャルグループ

銀行持株会社



- 名 称 株式会社ほくほくフィナンシャルグループ
- 本店所在地 富山市堤町通り1丁目2番26号
- 業務の内容 1.傘下子会社の経営管理
2.上記経営管理業務に付帯または関連する業務

- 資 本 金 708億9,500万円
- 発行済株式

普通株式	1,391,630,146株
第1回第1種優先株式	50,000,000株
第1回第4種優先株式	61,400,000株
第1回第5種優先株式	107,432,000株

●取締役・監査役の役職および氏名 (平成20年9月末現在)

役 職 名	氏 名	役 職 名	氏 名
取締役社長	高木 繁雄	取締役	相馬 彰彦
取締役副社長	堰八 義博	取締役	大島 雄次
取 締 役	川合 哲	監査役	河上 敏嗣
取 締 役	近藤 政道	監査役	南 義弘
取 締 役	羽岡 秀晃	監査役	石黒 靖尋
取 締 役	徳野 光宏	監査役	林 則清

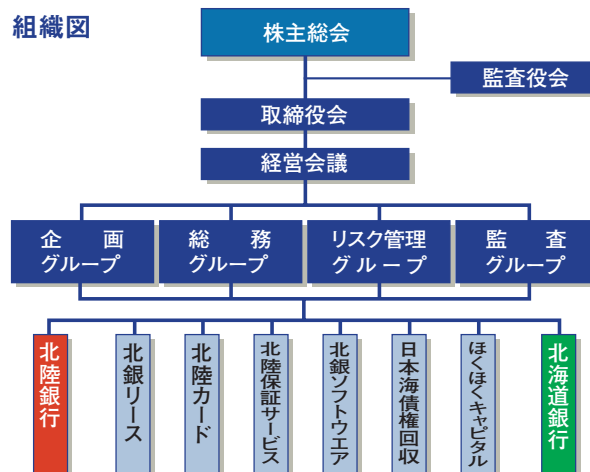
- 従業員の数 専任者13名、兼務者40名、計53名
- 設 立 日 平成15年9月26日
- 各組織の構成および役割等

取締役会 グループ全体の経営にかかる重要方針を決定し、持株会社ならびに子会社の経営管理・リスク管理・監査について管理監督します。

監査役会 監査の方針、監査役の職務の執行に関する事項を決定し、取締役の職務の執行を監査します。

経営会議 当社の常勤取締役で構成し、取締役会で決定した基本方針に基づき、一般的な業務執行方針および各部門の特に重要な業務執行に関する事項を決定します。

組織図



グループ各社の内容

- (株)北陸銀行 ほくほくフィナンシャルグループの中核企業として、
- (株)北海道銀行 総合金融サービスの提供を行ってまいります。
- 北銀リース(株) リース業務、代金回収業務などを行っております。
- (株)北陸カード JCB・VISAのカード業務、北陸銀行のカードローン「スーパーNOW」等の信用保証業務などを行っております。
- 北陸保証サービス(株) 住宅ローンやマイカーローンなどの個人向けローンの信用保証業務、不動産担保調査受託などを行っております。
- 北銀ソフトウェア(株) コンピュータシステムの開発・保守・管理業務の受託および販売業務などを行っております。
- 日本海債権回収(株) グループ全体の不良債権の早期処理および地域の企業再生支援に係る業務などを行っております。
- ほくほくキャピタル(株) 株式公開の立案・アドバイ業務、社債引き受け業務、ベンチャーキャピタル業務などを行っております。

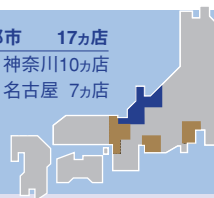
地域とのかかわり グループの広域ネットワーク ほくほくフィナンシャルグループ

ほくほくフィナンシャルグループは、北陸三県および北海道を主要営業基盤とする広域金融グループとして、三大都市圏を含む情報ネットワークと総合金融サービス機能を活用し、地域のお客さまの繁栄に貢献してまいります。地域からお預かりしたご預金は、地域のお客さまにご融資し、地域経済発展に貢献しております。

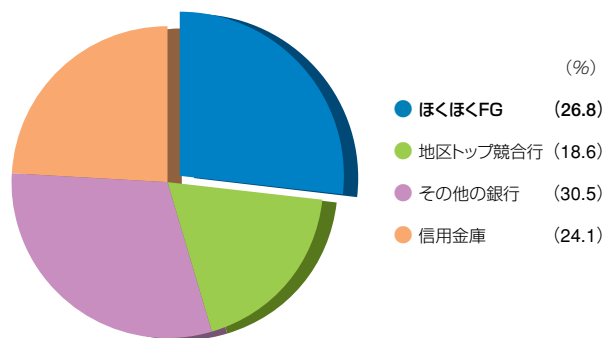
北陸3県	147カ店	3大都市	17カ店
富山県	90カ店	東京・神奈川	10カ店
石川県	35カ店	近畿・名古屋	7カ店
福井県	22カ店		
北海道	152カ店		
その他	4カ店		

海外

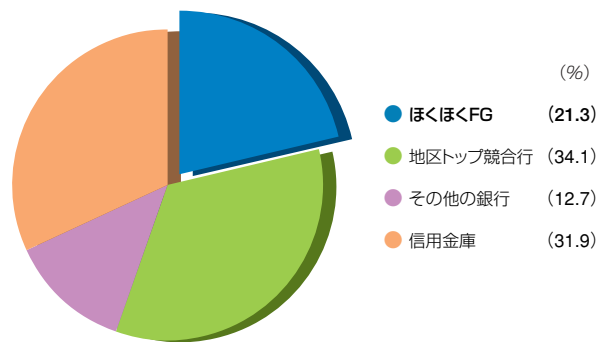
上海駐在員事務所
瀋陽駐在員事務所
シンガポール駐在員事務所
ニューヨーク駐在員事務所
(平成20年9月末)



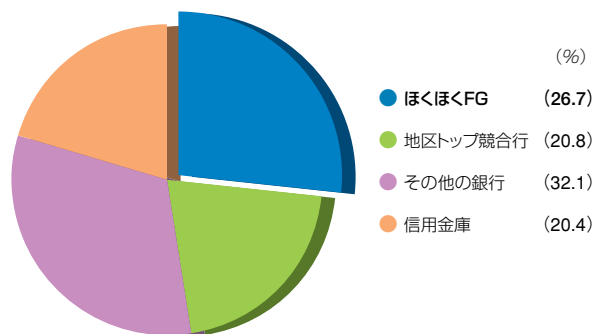
■ 北陸三県内預金シェア (銀行+信用金庫)



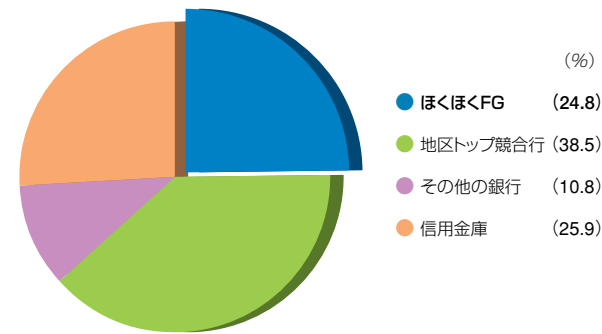
■ 北海道内預金シェア (銀行+信用金庫)



■ 北陸三県内貸出金シェア (銀行+信用金庫)



■ 北海道内貸出金シェア (銀行+信用金庫)

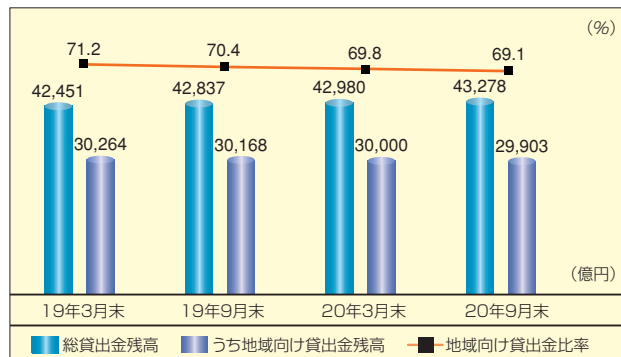


貸出金の状況

(注)「地域」とは、北陸銀行の主要営業基盤地域である北陸三県(富山、石川、福井)および北海道を指します。

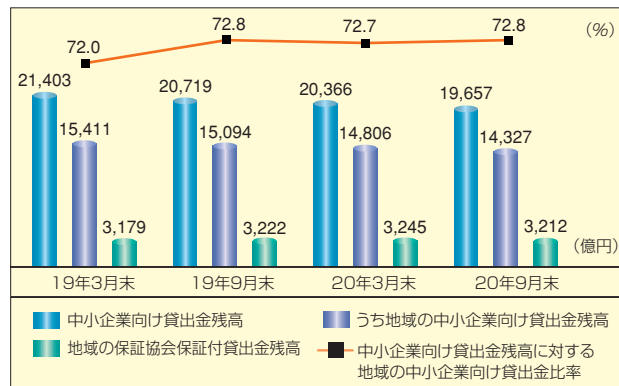
■ 地域向け貸出金の状況

総貸出金のうち、地域向け貸出金は2兆9,903億円と前期とほぼ同水準の残高であり、地域向け貸出金比率も69.1%となっております。



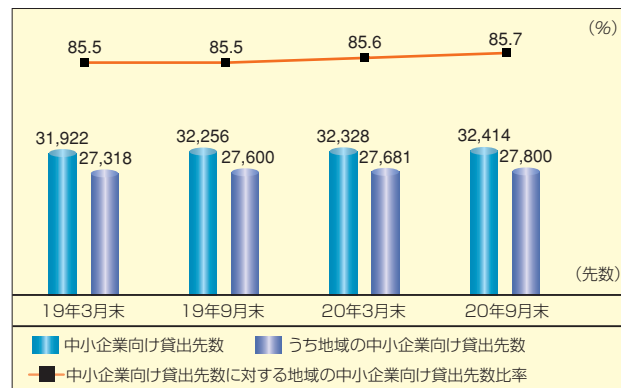
■ 中小企業向け貸出金の状況

中小企業向け貸出金は1兆9,657億円で、地域の中小企業向け貸出金は1兆4,327億円で中小企業向け貸出金の72.8%を占めております。

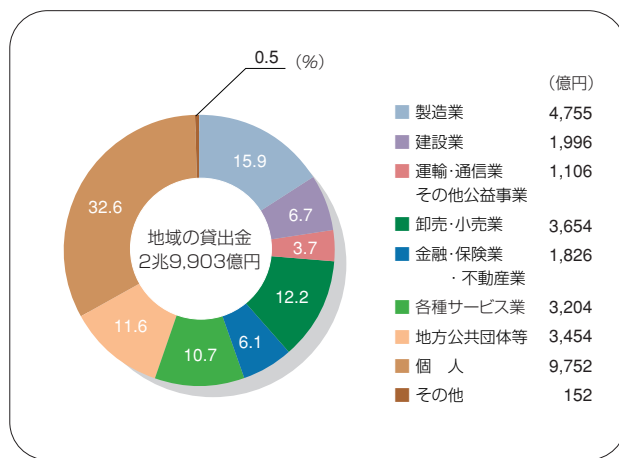


■ 中小企業向け貸出先数の状況

中小企業向け貸出先数は32,414先で、そのうち地域の中小企業向け貸出先数は27,800先と85.7%を占めております。



■ 地域の業種別貸出残高(平成20年9月末)



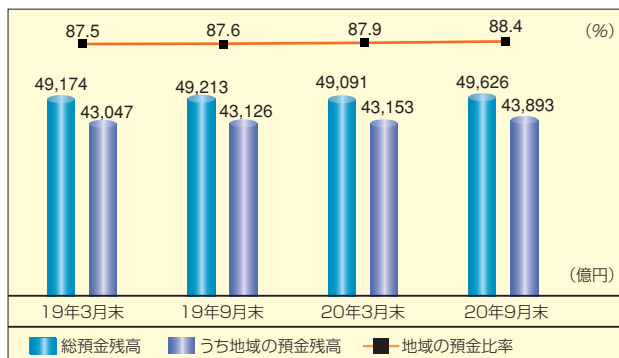
(注1) 分割子会社の計数を含んでおります。

(注2) 流動化した住宅ローンを含めた計数で記載しております。

預金等の状況

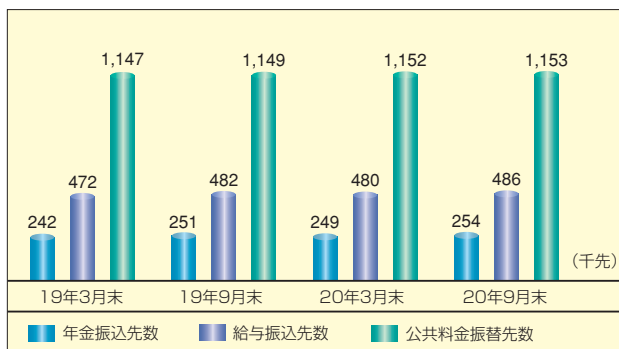
■ 地域の預金の状況

総預金は4兆9,626億円、うち4兆3,893億円が地域の預金で、総預金の88.4%を占めております。



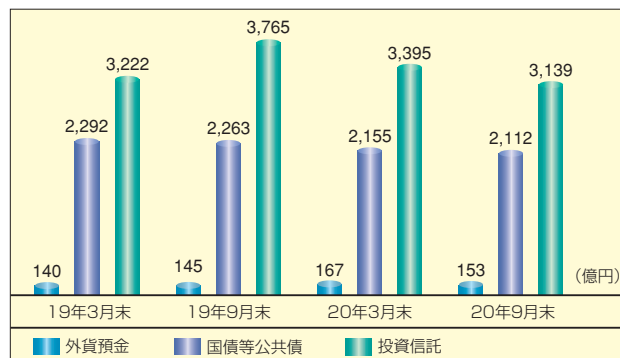
■ 決済サービスのご利用状況

年金振込は25万4千先、給与振込は48万6千先、公共料金の自動口座振替は115万3千先と多くのお客さまに家計のメイン口座としてご利用いただいております。



■ 投資型金融商品の状況

商品ラインナップの充実および販売体制の整備に努めた結果、20年9月末の個人のお客さまに対する投資型金融商品の合計残高は5,406億円となっております。



● お客さまのご要望にお応えできる「資産運用セミナー」開催

北陸銀行では、お客さまのさまざまな資産運用ニーズにお応えする幅広い商品ラインアップを充実させるとともに、お客さまの運用資産や投資方針に応じ、商品説明を丁寧に行っております。また、お客さまのご要望に的確にお応えできるようファイナンシャルプランナー資格者を営業店へ配置するとともに、各地で「資産運用セミナー」を開催しております。



資産運用セミナー風景 (ドリームセンター武蔵)

地域経済活性化のために

北陸銀行は、地域密着型金融の本質である「地域とともに生きる」という高い志のもと、地域の皆さまのニーズにお応えし、皆さまとともに歩み、成長・発展することを目指します。

◎ 創業・新事業支援

北陸銀行では、グループ企業のほくほくキャピタル・北銀リース、北陸三県有数の地域シンクタンクである北陸経済研究所と連携し、地域の次世代産業の担い手となる産業・企業の育成に積極的に取り組んでいます。

◎ 経営改善支援

お取引先企業が必要とする経営等に関する情報をタイムリーに提供し、質の高いコンサルティング機能を発揮するために、各種相談会やセミナーを開催しております。

【ほくぎんビジパ倶楽部】

企業経営や経営企画・事業開発・総務人事業務など、さまざまな問題やリスクを抱えるお取引先企業の経営者向けの会員制経営相談・情報サービスです。

【事業承継・M&Aセミナー】

外部講師や金融サービスコンサルティンググループのメンバーによる事業承継やM&Aセミナーを各地区で開催しております。



【グローバルセミナー】

北陸銀行では、外国政府機関や有力外国銀行との連携など、地元お取引先企業の海外進出を積極的にサポートしております。また、北陸三県を中心に、中国・ASEAN地域における経済動向、投資環境など経済環境に応じたテーマによるグローバルセミナーを開催しております。

◎ ネットワーク機能を活用した情報提供

グループの北海道銀行、システム共同化を行う横浜銀行、業務提携先の大垣共立銀行や地元金融機関とも連携し、ネットワーク機能を活用したお取引先企業への情報提供に努めております。



また、お取引先企業に対するビジネスサミットをはじめとする商談会等を開催し、ビジネスマッチングに積極的に取り組んでおります。3月22、23日の両日、北陸三県と岐阜県の特産品や郷土芸能を紹介し地域の魅力を発信するイベント「東海北陸地方交流 物産セレクション2008 in TOYAMA」を創業130周年記念事業の一環として富山市で開催しました。また6月4日には名古屋市で大垣共立銀行と共催で「ビジネスサミット2008」を開催し、約800件の活発な商談が行われ健康ビジネスへの関心の高さが窺えました。

また、7月8日には中国・上海で「全国地銀合同商談会 in 上海」を、29日には「ほくほくFG商談会 in 大連」を開催し、対中国ビジネスの橋渡しも積極的に行っております。

TOPICS 北陸銀行

20年 6月 金沢大学と「包括的連携協力協定に関する覚書」を締結

北陸銀行が指定金融機関である金沢大学と「包括的連携協力協定に関する覚書」を締結しました。今後は、地域企業との共同研究・新事業展開、大学発ベンチャー企業への投資・融資支援、知的財産活用に関する支援・協力、セミナー・相談会開催、人材育成・情報提供に関する支援・協力など幅広い分野で連携・協力関係を深めてまいります。この覚書に基づき、10月に同大学の新入職員



向けの「初任者研修」を当行本支店にて実施し、窓口業務や取引先訪問など実務を中心に民間金融機関のノウハウを提供いたしました。

20年 7月 排出権活用商品の取扱開始

CSRやカーボンオフセットへの活用等で排出権購入をご希望のお客さまにみずほ信託銀行を紹介するサービス、そして環境配慮型住宅を対象にした「カーボンオフセット付環境配慮型住宅ローン」の取り扱いを始めました。「カーボンオフセット付環境配慮型住宅ローン」は、オール電化、エコウィル等の環境配慮型住宅の新築・増改築資金が対象で、北陸銀行がCO₂排出権を購入し、ローン申込時に「エコ宣言」をしていただいたお客さま1世帯あたり排出権1トンを国に譲渡することで地球温暖化に貢献する環境配慮型ローン商品です。

20年 8月 振り込み詐欺防止に積極的に取組

全国で急増している振り込み詐欺への防止策として、8日から北陸銀行店舗内外の全ATMコーナーでの携帯電話使用を原則禁止とし、注意喚起するステッカーとポスターを掲示すると同時に、行員も積極的に声掛けを実施しております。

また、振り込み詐欺防止活動の一環として本部担当者や支店長が講師となって高齢者向けに振り込み詐欺を注意喚起する出前講座を開催しております。



20年 8月 八尾支店を町屋風銀行にリニューアル

富山市の「八尾地区中心市街地まちづくり計画推進事業」に賛同し、初秋を告げる風物詩「おわら風の盆」が始まる前の8月11日、八尾支店を町屋風に全面的に改装いたしました。外観には八尾の



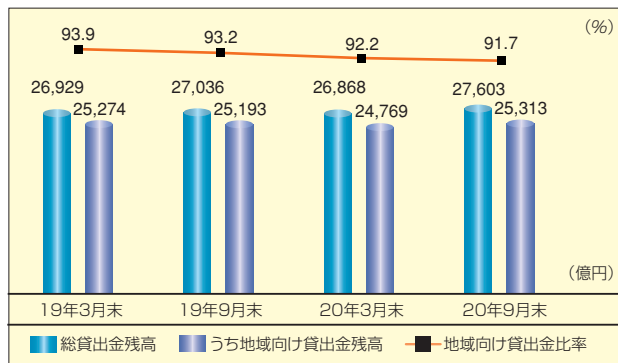
伝統的家屋の特徴である白漆喰風壁や「下見板」と呼ばれる外壁を採用、格子戸や看板などほとんどの部分に富山県産のスギを使用しました。

貸出金の状況

(注)「地域」とは、北海道銀行の主要営業基盤地域である北海道を指します。

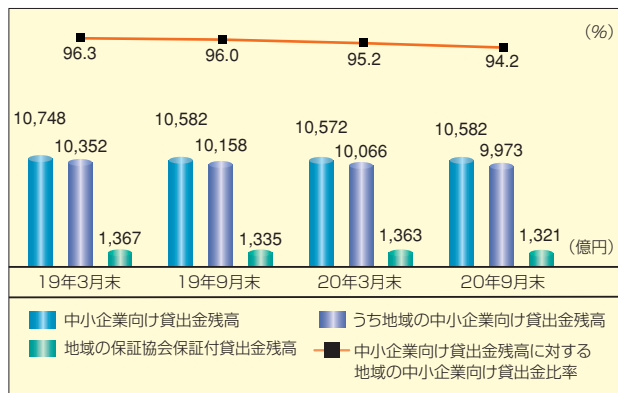
■ 地域向け貸出金の状況

総貸出金のうち地域向け貸出金は、前年同期を上回り、2兆5,313億円となりました。地域向け貸出金比率は91.7%と引き続き高い水準となっております。



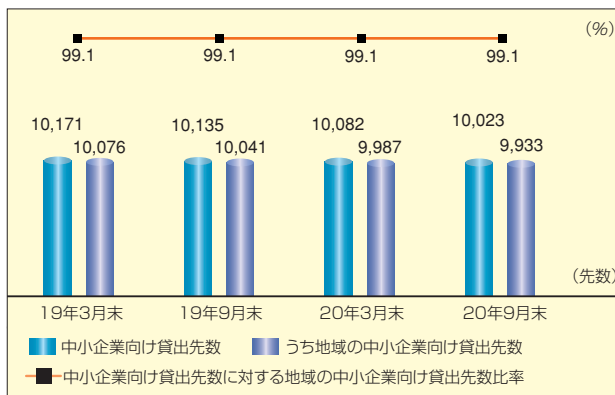
■ 中小企業向け貸出金の状況

中小企業向け貸出金は1兆582億円で、地域の中小企業向け貸出金は9,973億円と中小企業向け貸出金の94.2%を占めております。

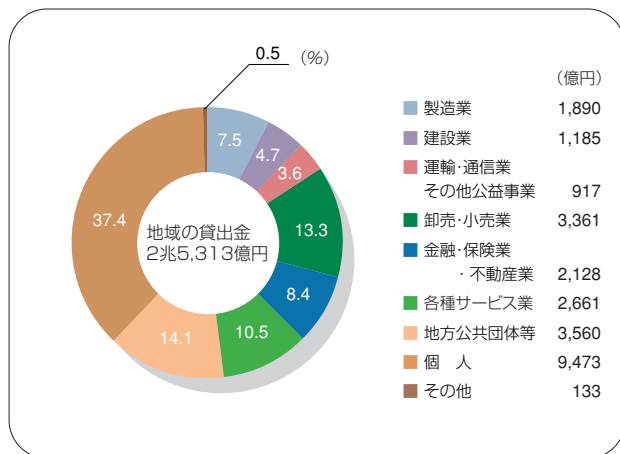


■ 中小企業向け貸出先数の状況

中小企業向け貸出先数は10,023先で、そのうち地域の中小企業向け貸出先数は9,933先と99.1%を占めております。



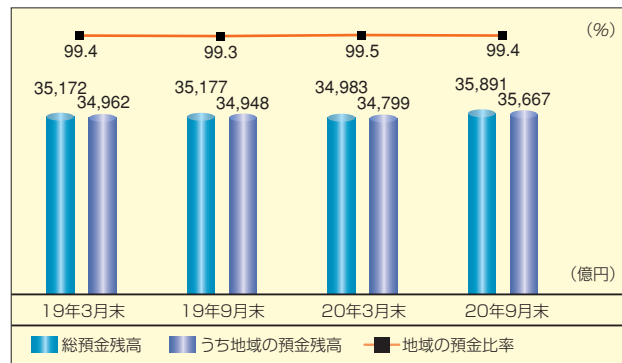
■ 地域の業種別貸出残高 (平成20年9月末)



預金等の状況

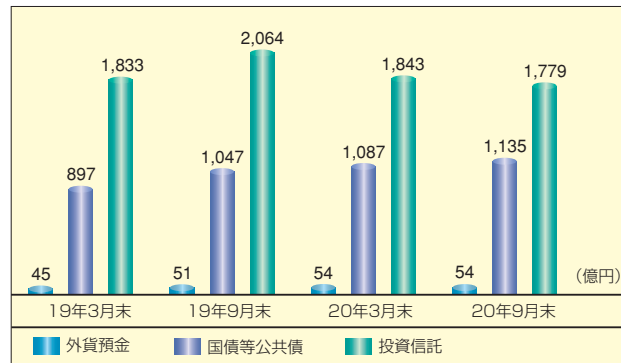
■ 地域の預金の状況

総預金は3兆5,891億円となりました。そのうち3兆5,667億円が地域の預金で、総預金の99.4%を占めています。



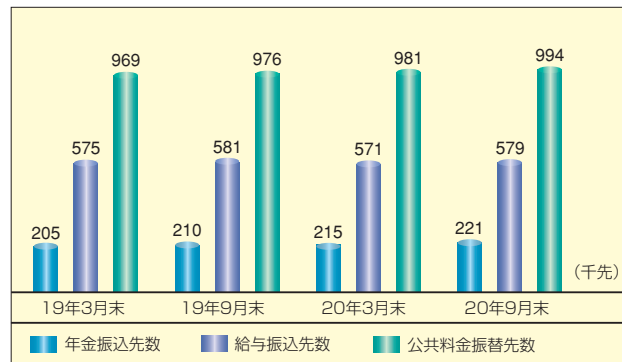
■ 投資型金融商品の状況

個人のお客さまに対する投資型金融商品の残高は、平成20年9月末で2,970億円となりました。



■ 決済サービスのご利用状況

年金振込は22万1千先、給与振込は57万9千先、公共料金の自動口座振替は99万4千先と多くのお客さまに家計のメイン口座としてご利用いただいております。



● 「ジャンボ宝くじ付き定期預金」でまたも高額当せん

平成18年、平成19年、平成20年のいずれかの「サマージャンボ宝くじ付き定期預金」にお預けいただいたお客さまの中から、平成20年第544回「サマージャンボ宝くじ」において、1等前後賞3億円の当せん者が誕生しました。これは平成19年第532回「年末ジャンボ宝くじ」につづき、2人目となります。

北海道銀行の「ジャンボ宝くじ付き定期預金」は、あらたなお預け入れ200万円ごとに10枚連番のジャンボ宝くじをご自宅に郵送でお届けする商品で、大変ご好評をいただいております。



年末ジャンボ宝くじ付き定期預金

地域経済活性化のために

北海道銀行は、北海道の強みを伸ばし弱みを克服することにより地域経済のさらなる活性化を図るため、ものづくり企業や農業事業者の支援に積極的に取り組んでおります。

◎ 第1回 ものづくり企業見学ツアー

8月6日から3日間にわたり、函館、旭川、釧路、苫小牧の道内4高専の学生を対象とした「ものづくり企業見学ツアー」を実施いたしました。本ツアーは道内4高専との「産学連携協力協定事業」の一環として実施したもので、「ものづくり企業」4社を訪問し、日頃、机上では学ぶことのできない「ものづくり」に対する考え方やこだわり、技術に対する考え方、生産工程管理等を生の現場で学ぶことを目的としています。



◎ 第5回 北海道の『食』特別商談会

9月3日、第5回「北海道の『食』特別商談会」を開催いたしました。本商談会は、北海道内の「こだわりの逸品」、「隠れた名品」を製造している食品・飲料メーカーの販路拡大を支援するため平成17年から開催しているもので、前年に引き続き北海道との共催となりました。当日は、北海道が推薦する食品・飲料メーカー12社を含む44社が出展し、高橋はるみ知事をはじめ、全国のスーパーマーケット、百貨店、通信販売、外食チェーン等の経営者・バイヤー約300名が来場されました。

また、同時に開催された「個別商談会」では320件の商談が行われ、北海道の『食』に対する関心の高さを窺うことができました。



今後も安全・安心な北海道の『食』を全国に向けて発信するお手伝いを積極的に行ってまいります。

◎ 北海道との連携協力に関する協定調印式

北海道銀行では、産業振興に資する事業などの実施において、積極的な連携・協力を行うことにより、北海道経済の活性化に寄与することを目的として、9月3日、北海道との間で、連携協力に関する協定を締結いたしました。今後とも、北海道に根ざした地域金融機関として、道内企業の海外進出支援や企業誘致の推進等を図ることにより、道内経済のさらなる活性化のお役に立つための事業・情報提供に力を入れてまいります。



◎ 農業生産者のための北海道『食』商談会 in 十勝

北海道銀行では、北海道の強みを伸ばす試みとして、「農業」に特化した商談会を8月19日から2日間にわたり初めて開催いたしました。期間中は、道内外のバイヤーや食品加工・外食産業の経営者、仕入担当者の方々23名を、道東十勝地区にお招きし、個別商談会のほか、「これから求められる農業者のマーケティング」と題するセミナーや、「酪農・乳製品」や「青果物（野菜）」、「肉用牛」を取り扱う8社の農業生産法人の生産現場訪問を実施いたしました。



TOPICS 北海道銀行

20年 5月 「地域力連携拠点」に認定

5月30日、北海道銀行は経済産業省地域力連携拠点事業の「地域力連携拠点」に認定されました。この事業は、経済産業省の平成20年度新規施策として、全国に316の連携拠点を設け、拠点ごとに配置する“応援コーディネーター”が中小・小規模企業の皆さまの経営力向上や事業継承等をご支援するもので、地方銀行としては全国7行、道内では北海道銀行のみが認定を受けております。



20年 6月 農業者向け協調融資 愛称『ミチコちゃん』の取扱開始

北海道銀行では、6月16日より、業務協力提携先金融機関である農林漁業金融公庫北海道支店との間で農業者向けの協調融資（愛称：『ミチコちゃん』）の取り扱いを開始しました。具体的には、農林漁業金融公庫のスコアリング手法による判定が一定水準以上となったお客さまを対象に、農林漁業金融公庫の「スーパーL資金クイック」と北海道銀行の農業融資「マインドウ・アグリ」を組み合わせ最大3,500万円までのご融資を可能としたもので、設備資金や運転資金として幅広くご利用いただくものです。

20年 6月 「チームマイナス6%」への参加登録

京都議定書の発効を受け、政府の地球温暖化対策推進会議が立ち上げた地球温暖化への国民運動である「チームマイナス6%」への参加登録を行いました。また、7月1日から9月30日までの3ヶ月間、北海道銀行としては初めて、クールビズを実施いたしました。期間中、空調機器の設定温度を原則として本部28℃、営業店26℃に設定し、省電力による二酸化炭素排出量の抑制に努めました。一方、本業を通じた環境への取り組みとしては、「環境配慮型住宅ローン」や「カーボンオフセット付環境配慮型住宅ローン」、「排出権特定金外信託」等の取り扱いを行っているほか、環境ものづくり企業を1年間にわたり紹介するテレビ番組「北モノ語り～エコ新書～」の提供などを行っております。



20年 10月 屯田パーソナル支店開店

個人のお客さまの多様化するニーズにお応えするべく、10月20日、個人取引専門店「屯田パーソナル支店」を開店いたしました。『パーソナル支店』は、「個人のお客さまがよりご来店・ご相談いただきやすい店舗」を基本コンセプトとし、店内には落ち着いた雰囲気



資産運用、住宅ローン等のご相談をお受けいただける「相談ブース」を設置しているほか、休日の相談営業など、より身近にご利用いただける魅力ある店舗づくりを目指しております。

貸借対照表(平成20年9月30日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
流動資産	7,823	流動負債	179
現金及び預金	6,429	未払配当金	51
前払費用	3	未払費用	63
未収収益	36	未払法人税等	49
繰延税金資産	11	未払消費税等	11
未収還付法人税等	1,341	預り金	2
固定資産	328,657	その他	0
有形固定資産	1	固定負債	40,024
器具及び備品	1	社債	40,000
無形固定資産	3	その他	24
商標権	1		
ソフトウェア	2	負債の部合計	40,204
投資その他の資産	328,651	純資産の部	
関係会社株式	288,641	資本金	70,895
関係会社長期貸付金	40,000	資本剰余金	212,014
繰延税金資産	10	資本準備金	82,034
その他	0	その他資本剰余金	129,979
		利益剰余金	13,800
		その他利益剰余金	13,800
		繰越利益剰余金	13,800
		自己株式	△433
		株主資本合計	296,275
		純資産の部合計	296,275
資産の部合計	336,480	負債及び純資産の部合計	336,480

損益計算書(平成20年4月1日～平成20年9月30日)(単位:百万円)

営業収益	2,047
関係会社受取配当金	1,647
関係会社受入手数料	400
営業費用	346
販売費及び一般管理費	346
営業利益	1,701
営業外収益	443
関係会社貸付金利息	430
その他の営業外収益	13
営業外費用	493
社債利息	430
事務委託費	63
経常利益	1,650
特別利益	5,535
関係会社株式売却益	5,535
税引前中間純利益	7,185
法人税、住民税及び事業税	139
法人税等調整額	11
法人税等合計	151
中間純利益	7,034

株主資本等変動計算書(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本								純資産 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本 合計	
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合計			
平成20年3月31日残高	70,895	162,034	80,098	242,133	11,617	11,617	△386	324,259	324,259
中間会計期間中の変動額									
資本準備金の取崩	—	△80,000	80,000	—	—	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	—	—	△4,851	△4,851	—	△4,851	△4,851
中間純利益	—	—	—	—	7,034	7,034	—	7,034	7,034
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	△30,192	△30,192	△30,192
自己株式の処分	—	—	△8	△8	—	—	35	26	26
自己株式の消却	—	—	△30,110	△30,110	—	—	30,110	—	—
株主資本以外の項目の 中間会計期間中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
中間会計期間中の変動額合計	—	△80,000	49,880	△30,119	2,182	2,182	△46	△27,984	△27,984
平成20年9月30日残高	70,895	82,034	129,979	212,014	13,800	13,800	△433	296,275	296,275

財務諸表 **ほくほくフィナンシャルグループ** (連結) 第6期中間 (注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結貸借対照表 (平成20年9月30日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
現金預け金	342,600	預金	8,487,515
コールローン及び買入手形	22,071	譲渡性預金	98,493
買入金銭債権	167,228	コールマネー及び売渡手形	180,000
特定取引資産	7,705	特定取引負債	927
金銭の信託	5,888	借入金	122,911
有価証券	1,693,487	外国為替	187
貸出金	6,981,048	社債	66,500
外国為替	16,939	その他負債	157,862
その他資産	199,323	退職給付引当金	11,198
有形固定資産	110,291	偶発損失引当金	1,195
無形固定資産	40,540	睡眠預金払戻引当金	2,388
繰延税金資産	96,054	再評価に係る繰延税金負債	9,054
支払承諾見返	155,304	支払承諾	155,304
貸倒引当金	△98,464		
		負債の部合計	9,293,539
		純資産の部	
		資本金	70,895
		資本剰余金	223,115
		利益剰余金	158,647
		自己株式	△468
		株主資本合計	452,189
		その他有価証券評価差額金	△15,230
		繰延ヘッジ損益	△11
		土地再評価差額金	8,909
		評価・換算差額等合計	△6,333
		少数株主持分	625
		純資産の部合計	446,481
資産の部合計	9,740,021	負債及び純資産の部合計	9,740,021

連結損益計算書 (平成20年4月1日～平成20年9月30日) (単位:百万円)

経常収益	123,810
資金運用収益	82,425
(うち貸出金利息)	(70,275)
(うち有価証券利息配当金)	(9,543)
役員取引等収益	21,804
特定取引収益	941
その他業務収益	16,815
その他経常収益	1,822
経常費用	104,149
資金調達費用	16,089
(うち預金利息)	(13,322)
役員取引等費用	5,616
その他業務費用	9,553
営業経費	50,196
その他経常費用	22,694
経常利益	19,660
特別利益	38
特別損失	235
税金等調整前中間純利益	19,463
法人税、住民税及び事業税	7,881
法人税等調整額	△25,995
法人税等合計	△18,113
少数株主利益	37
中間純利益	37,539

連結株主資本等変動計算書 (平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計		
平成20年3月31日残高	70,895	253,234	125,950	△421	449,658	△4,722	△16	8,918	4,179	590	454,428
中間連結会計期間中の変動額											
剰余金の配当	—	—	△4,851	—	△4,851	—	—	—	—	—	△4,851
中間純利益	—	—	37,539	—	37,539	—	—	—	—	—	37,539
自己株式の取得	—	—	—	△30,192	△30,192	—	—	—	—	—	△30,192
自己株式の処分	—	△8	—	35	26	—	—	—	—	—	26
自己株式の消却	—	△30,110	—	30,110	—	—	—	—	—	—	—
土地再評価差額金の取崩	—	—	9	—	9	—	—	—	—	—	9
株主資本以外の項目の 中間連結会計期間中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	△10,507	4	△9	△10,512	34	△10,477
中間連結会計期間中の変動額合計	—	△30,119	32,697	△46	2,531	△10,507	4	△9	△10,512	34	△7,946
平成20年9月30日残高	70,895	223,115	158,647	△468	452,189	△15,230	△11	8,909	△6,333	625	446,481

貸借対照表(平成20年9月30日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
現金預け金	249,931	預金	4,962,630
コールローン	2,071	譲渡性預金	53,498
買入金銭債権	167,142	コールマネー	180,000
特定取引資産	5,327	特定取引負債	927
有価証券	833,777	借入金	139,028
貸出金	4,232,823	外国為替	161
外国為替	10,847	その他負債	72,521
その他資産	75,246	退職給付引当金	354
有形固定資産	65,803	偶発損失引当金	673
無形固定資産	3,208	睡眠預金払戻引当金	1,805
繰延税金資産	66,923	再評価に係る繰延税金負債	9,054
支払承諾見返	89,605	支払承諾	89,605
貸倒引当金	△47,611	負債の部合計	5,510,261
投資損失引当金	△57	純資産の部	
資産の部合計	5,755,040	資本金	140,409
		資本剰余金	14,998
		資本準備金	14,998
		利益剰余金	101,210
		利益準備金	3,566
		その他利益剰余金	97,643
		繰越利益剰余金	97,643
		自己株式	△18,050
		株主資本合計	238,568
		その他有価証券評価差額金	△2,687
		繰延ヘッジ損益	△11
		土地再評価差額金	8,909
		評価・換算差額等合計	6,210
		純資産の部合計	244,779
		負債及び純資産の部合計	5,755,040

損益計算書(平成20年4月1日~平成20年9月30日)(単位:百万円)

経常収益	65,350
資金運用収益	47,751
(うち貸出金利息)	(40,723)
(うち有価証券利息配当金)	(4,863)
役務取引等収益	11,515
特定取引収益	909
その他業務収益	3,889
その他経常収益	1,283
経常費用	55,744
資金調達費用	10,230
(うち預金利息)	(8,088)
役務取引等費用	3,285
その他業務費用	1,168
営業経費	26,602
その他経常費用	14,458
経常利益	9,605
特別利益	10
特別損失	137
税引前中間純利益	9,477
法人税、住民税及び事業税	1,704
法人税等調整額	△22,358
法人税等合計	△20,654
中間純利益	30,132

株主資本等変動計算書(平成20年4月1日~平成20年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本							評価・換算差額等				純資産合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金		評価・換算差額等合計
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計							
平成20年3月31日残高	140,409	14,998	14,998	3,451	68,194	71,645	—	227,054	2,198	△16	8,918	11,100	238,155
中間会計期間中の変動額													
剰余金の配当	—	—	—	115	△693	△577	—	△577	—	—	—	—	△577
中間純利益	—	—	—	—	30,132	30,132	—	30,132	—	—	—	—	30,132
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	△18,050	△18,050	—	—	—	—	△18,050
土地再評価差額金の取崩	—	—	—	—	9	9	—	9	—	—	—	—	9
株主資本以外の項目の 中間会計期間中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	—	—	—	△4,885	4	△9	△4,890	△4,890
中間会計期間中の変動額合計	—	—	—	115	29,449	29,564	△18,050	11,514	△4,885	4	△9	△4,890	6,623
平成20年9月30日残高	140,409	14,998	14,998	3,566	97,643	101,210	△18,050	238,568	△2,687	△11	8,909	6,210	244,779

貸借対照表(平成20年9月30日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
現金預け金	91,811	預金	3,589,187
コールローン	20,000	譲渡性預金	44,994
買入金銭債権	0	借入金	48,000
商品有価証券	2,378	外国為替	25
金銭の信託	5,888	その他負債	57,895
有価証券	912,099	退職給付引当金	10,475
貸出金	2,760,344	偶発損失引当金	521
外国為替	6,091	睡眠預金払戻引当金	583
その他資産	80,387	支払承諾	30,020
有形固定資産	28,429	負債の部合計	3,781,704
無形固定資産	2,831	純資産の部	
繰延税金資産	29,959	資本金	93,524
支払承諾見返	30,020	資本剰余金	16,795
貸倒引当金	△33,404	資本準備金	16,795
		利益剰余金	64,126
		利益準備金	3,524
		その他利益剰余金	60,601
		繰越利益剰余金	60,601
		自己株式	△13,230
		株主資本合計	161,215
		その他有価証券評価差額金	△6,079
		評価・換算差額等合計	△6,079
		純資産の部合計	155,135
資産の部合計	3,936,839	負債及び純資産の部合計	3,936,839

損益計算書(平成20年4月1日~平成20年9月30日)

(単位:百万円)

経常収益	47,736
資金運用収益	34,540
(うち貸出金利息)	(29,321)
(うち有価証券利息配当金)	(4,776)
役務取引等収益	8,413
その他業務収益	4,238
その他経常収益	543
経常費用	37,912
資金調達費用	5,919
(うち預金利息)	(5,307)
役務取引等費用	3,250
その他業務費用	1,672
営業経費	20,334
その他経常費用	6,734
経常利益	9,823
特別利益	2
特別損失	90
税引前中間純利益	9,735
法人税、住民税及び事業税	5,484
法人税等調整額	△3,496
法人税等合計	1,988
中間純利益	7,747

株主資本等変動計算書(平成20年4月1日~平成20年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本							評価・換算差額等		純資産合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金		評価・換算差額等合計
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計					
平成20年3月31日残高	93,524	16,795	16,795	3,310	54,134	57,445	—	167,764	△515	△515	167,249
中間会計期間中の変動額											
剰余金の配当	—	—	—	213	△1,280	△1,067	—	△1,067	—	—	△1,067
中間純利益	—	—	—	—	7,747	7,747	—	7,747	—	—	7,747
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	△13,230	△13,230	—	—	△13,230
株主資本以外の項目の 中間会計期間中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	—	—	—	△5,564	△5,564	△5,564
中間会計期間中の変動額合計	—	—	—	213	6,467	6,680	△13,230	△6,549	△5,564	△5,564	△12,113
平成20年9月30日残高	93,524	16,795	16,795	3,524	60,601	64,126	△13,230	161,215	△6,079	△6,079	155,135

資本金・株式数・株主数

(平成20年9月末現在)

■ 資本金	70,895,000,000円
■ 発行済株式の総数	1,610,462,146株
普通株式	1,391,630,146株
第1回第1種優先株式	50,000,000株
第1回第4種優先株式	61,400,000株
第1回第5種優先株式	107,432,000株
■ 株主数	
普通株式	53,216名
第1回第1種優先株式	1名
第1回第4種優先株式	1名
第1回第5種優先株式	1,643名

株式のご案内

■ 決算日	毎年3月31日
■ 定時株主総会	毎年6月
■ 1単元の株式数	1,000株
■ 基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
■ 公告掲載新聞	日本経済新聞 富山市において発行する北日本新聞 札幌市において発行する北海道新聞 <small>※決算公告については、当社ホームページ (http://www.hokuhoku-fg.co.jp/)に開示いたしております。</small>
■ 証券コード	8377
■ 上場取引所	東京証券取引所(第一部) 札幌証券取引所

株式事務取扱場所

- 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
- 事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
- 郵便物送付先・お問い合わせ先

	平成20年12月30日まで	平成21年1月5日より
郵便物送付先	〒135-8722 東京都江東区佐賀1-17-7 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先	フリーダイヤル 0120-288-324 (変更ありません)	

■ 取次所

	平成20年12月30日まで	平成21年1月5日より
みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店		各種の請求、届出等は、原則として、株主様が口座を開設されている証券会社等を通じて請求・届出いただくこととなり、株主名簿管理人の取次所では受付することができませんのでご注意ください。ただし、優先株式、未払配当金のお問い合わせは引き続き受付いたします。

※特別口座に記録された株主様からの単元未満株式の買取請求、買増請求、振替請求等は、特別口座管理機関としてのみずほ信託銀行の本店でご請求等のお取次をいたします。

平成21年1月より株券が電子化されます。そのため株式に関するお手続きに変更がある場合がございますのでご注意ください。

詳しくは、上記「電話お問い合わせ先(0120-288-324)」にお問い合わせください。

なお、証券会社等をご利用の場合は、住所変更や買取請求等は引き続きご利用の証券会社等へご連絡願います。

優先株式、未払配当金につきましては、上記「電話お問い合わせ先(0120-288-324)」にお問い合わせください。

お知らせ

■ 経営理念

「ほかほかフィナンシャルグループ」は、健全経営のもと、広域金融グループとしてのネットワークと総合的な金融サービス機能を活用して、営業地域のお客さまの安心と繁栄に貢献し、ともに発展しつづけます。

地域共栄

社会的使命を實踐し、地域社会とお客さまとともに発展します。

公正堅実

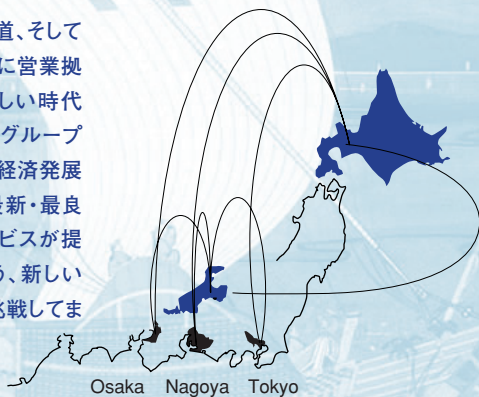
公正かつ堅実な経営による健全な企業活動を目指し、信頼に応えます。

進取創造

創造と革新を追求し、活力ある職場から魅力あるサービスを提供します。

■ Hokuhoku Network

北陸と北海道、そして三大都市圏に営業拠点を持つ新しい時代の広域金融グループとして、地域経済発展のために、最新・最良の金融サービスを提供できるよう、新しいビジネスに挑戦してまいります。



■ コーポレートマーク

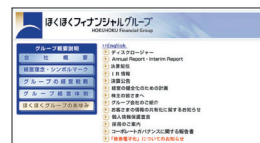


垂直に伸びるゴールドのグラデーションは企業の成長性と収益性を表し、緩やかな弧を描くラインは広域地銀としてのネットワークを表現しています。また、落ち着いたブルーの正方形は、組織の揺るぎない安定性をイメージしており、その正方形の中に垂直のラインとカーブのラインを配置することによって、「ほかほか」の頭文字である「h」を表しています。

■ ホームページのご案内

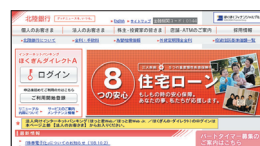
ほかほかフィナンシャルグループ <http://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

ほかほかフィナンシャルグループの概要、経営戦略、財務データやIR情報、そしてニュースリリースなど最新の情報から過去のデータまでご覧いただけます。



北陸銀行 <http://www.hokugin.co.jp/>

取扱商品・サービスやキャンペーンのお知らせから店舗やATM（コンビニATMを含む）の所在地・ご利用時間まで、さまざまな情報を詳細かつタイムリーに掲載しております。



北海道銀行 <http://www.hokkaidobank.co.jp/>

各種商品・サービス、セミナーのご案内、トピックスなどをタイムリーに掲載しています。また、定期預金、各種ローンの簡単なシミュレーションもご利用いただけます。





株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ

Hokuhoku Financial Group, Inc.

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ

〒930-8637 富山市堤町通り 1丁目2番26号

Tel:076-423-7331

<http://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

株式会社 北陸銀行 総合企画部広報グループ

〒930-8637 富山市堤町通り 1丁目2番26号

Tel:076-423-7111

<http://www.hokugin.co.jp/>

株式会社 北海道銀行 経営企画部広報室

〒060-8676 札幌市中央区大通西4丁目1番地

Tel:011-233-1005

<http://www.hokkaidobank.co.jp/>